

平成19年度総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラム開催報告

こども未来フォーラム in 八戸 ~こどもたちの未来のために スポーツができること~

日時：平成19年10月19日（金） 18：00～19：30

会場：青森県八戸市「八戸市公民館」

総合型地域スポーツクラブ推進事業で、「こども未来フォーラム in 八戸」を開催したところ、約150名の参加があった。青森県は総合型クラブ未育成の市町村が多く、参加者に総合型クラブの意義・役割等について理解を図り、総合型クラブ設立への機運を高めることを目的に実施した。

基調講演 18：10～18：40

「スポーツの力、スポーツが変える・スポーツが変わる」 講演者 荻原健司氏

総合型地域クラブ推進団長の荻原健司ですと自己紹介があり、ヨーロッパのスポーツ環境を紹介された。大会に出場するエントリー所属はクラブ名だが、今までの日本は学校か企業名であった。しかし、少子化で部活が減り、企業はスポーツにお金をかけなくなり、今後は地域に根ざしたクラブで行くべきだ。子どもはスポーツ少年団で勝利至上主義の指導の為、日曜日大会で疲れきり、月曜日学校で寝ている子どもが多いと聞いている。子どもにはスポーツをどういうものか見せる時期でもあるし、さまざまなスポーツや体験をする時期だと思う。私のスポーツ少年団の思い出は、スキーではなく登山や釣り、ハイキングなどいろいろな体験したことが思い出に残り、その思い出がスポーツを好きになるきっかけだった。

スポーツある生活は、充実し健康になり友人が多くつくれる場なので、生涯の人生に必要なだと思う。是非、総合型クラブを立ち上げていただきたいと話された。



対 談 18：40～19：00 荻原健司氏と黒須 充氏

スポーツ庁について

荻原 スポーツ立国調査会を麻生前自民党幹事長を代表のもと立ち上げた。国内のスポーツ団体を一元的に統括する新たな行政組織を政府内に設けることを検討している。各省庁にはスポーツや健康についての予算があり、スポーツ庁で一括して国民の為に使うことで無駄をなくしたい。

黒須 総合型クラブは2010年に全国市町村に一つ立ち上げることがゴールではないので、100年のビジョンを考え進めなくてはいけない。その為にもスポーツ庁は早急を実現していただきたい。

スポーツ環境について

黒須 イギリスでは、年間7000億円を中学校体育館のリニューアルに予算化した。そして地域のクラブと連携して創っていき、16年かけてイギリスの全体育施設を地域と学校と



協働で完成させるそうだが、日本の動きはどうか。

萩原 スポーツするには寒い体育館よりも暖かい体育館の方がスポーツをしたくなる。

学校体育館は老朽化している所が多く、耐震構造的にも問題がある。避難所としての役割もあるので、関係機関と連携すればリニューアルできる。

アメリカでキッズゾーン

黒須 アメリカでは、次のような内容が記載されているキッズゾーンの看板がスポーツ施設入り口にありますが。

- 1、子供がNO1
- 2、勝つことではなく楽しむことが全て
- 3、ファンは応援する、コーチはコーチする
- 4、怒って怒鳴ったりしない
- 5、ボランティアのレフェリーに敬意を表す
- 6、ののしらない
- 7、禁煙
- 8、ゴミは持ち帰り、残さない
- 9、子供に良い手本となる

同意するなら歓迎します。もしそうでなければお引取りください。

萩原 日本の公園は、ボール遊び禁止、サッカー禁止、騒音禁止で遊び場がない。日本の環境を作らなければならないと思います。

講演 19:00～19:15

「総合型クラブで力あふれるまちづくり」 講演者 黒須 充氏

総合型クラブとは、組織構造と理念を持った非営利組織であり、全国中学校区に一つのクラブを立ち上げることになっている。

全国で1995年に6クラブでスタートし、2007年は2555クラブになった。広域スポーツセンターは63センターがあり、確実に増えている。全国のクラブ育成率は49%、青森県の育成率は27%で全国下から2位の低さである。

全国のクラブ例では、和歌山県上富田町にある「くちくまのクラブ」は、スポーツ少年団指導者が集まり総合型クラブを立ち上げ、JR無人駅をクラブハウスとして、活発な活動をしている。

また、富山県瑞穂町にある「クラブJoy」は、設立趣意書の一部に、『人間、オトコとオンナ。二人で「LOVE」。三人以上集まれば「クラブ」になるのは楽しいから。一人であるより二人。二人より三人と、楽しみは広がるものです。そんなみんなのクラブが一つになればもっと楽しい町になるのではないのでしょうか。他人の「楽しい」を羨むよりも自分の「楽しい」を分かち合いましょ。豊かな人間関係のないところに豊かな子どもは育ちません。』と書かれている。

健康でスポーツが出来る街は住みたくるので、住民主体でクラブを創っていただきたい。ただし、他力依存型の強いクラブは長続きしない。総合型クラブの10のメリットは、スポーツ参加率の向上 地域教育力の向上 医療費の削減 親子や家族・世代間の交流 専門的な指導・一貫指導 高齢者のいきがいづくり 積極的な社会参加 情報の発信拠点 施設の有効利用 地域の活性化

八戸市の取り組み 19：20～19：45 八戸市教育委員会

八戸市体育協会の組織団体は、種目別協会34団体、地区体育協会27団体、スポーツ少年団56団で組織されている。また、体育指導委員は、教育委員会から47名任命されている。

子どもの運動能力は二極化していて、八戸市の体力テストでは全国を下回っている。肥満児や顔から転ぶ子、座り続けることや立ち続けることができない子どもが多い。

地域の様々な問題は地域で考えていかなければならない。20年後にあの時、環境を変えたことが良かったと思う為にも、今出来ることをしていただきたい。今後、行政から地区体育協会を回り総合型地域スポーツクラブを説明したい。

(報告：東北ブロック地方企画班員 司東道雄)